

日本学術会議主催学術フォーラム

「安全保障と学術の関係：日本学術会議の立場」について（ご案内）

【日時】平成29年2月4日（土）13：00～17：00（開場：12：30～）

【主催】日本学術会議

【会場】日本学術会議講堂

（定員250名・入場無料・事前登録制・定員に達し次第、受付終了）

【開催趣旨】

日本学術会議は1950年、1967年に「戦争を目的とする科学研究」を行わないとの声明を発した。近年、軍事と学術が各方面で接近を見せる中、民生的な研究と軍事的な研究との関係をどうとらえるかや、軍事研究が学術の公開性・透明性に及ぼす影響などをめぐって審議すべく、「安全保障と学術に関する検討委員会」が設置された。同委員会の中間報告を受けて審議の状況等を紹介するとともに、内外から意見を聴取するため、学術フォーラムを開催いたします。

【プログラム】

総合司会 大政 謙次（日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授、愛媛大学大学院農学研究科客員教授、高知工科大学客員教授）

13：00-13：05 開会挨拶

挨拶 大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）

<第1パート：委員会中間とりまとめの状況報告>

13：05-13：35 委員会中間とりまとめの状況報告

杉田 敦（日本学術会議第一部会員、法政大学法学部教授）

<第2パート：日本学術会議の内外の意見>

進行 小松 利光（日本学術会議第三部会員、九州大学名誉教授）

13：35-13：50 （演題調整中）

兵藤 友博（日本学術会議第一部会員、立命館大学経営学部教授）

13：50-14：05 「学術研究のために」という視点

須藤 靖（日本学術会議第三部会員、東京大学大学院理学系研究科

教授)

14 : 05-14 : 20 (演題調整中)

佐野 正博 (日本学術会議連携会員、明治大学経営学部教授)

14 : 20-14 : 35 軍民両用 (デュアルユース) 研究とは何かー

科学者の使命と責任について

福島 雅典 (日本学術会議連携会員、財団法人先端医療振興財団臨床  
研究情報センター長 (兼) 研究事業統括)

14 : 35-14 : 50 防衛技術とデュアルユース (予定)

西山 淳一 (公益財団法人未来工学研究所 政策調査分析センター  
研究参与)

14 : 50-15 : 05 安全保障と学術について (予定)

根本 清樹 (朝日新聞社論説主幹)

15 : 05-15 : 20 ( 休憩 )

<第3パート：総合討論>

進行 杉田 敦 (日本学術会議第一部会員、法政大学法学部教授)

15 : 20-16 : 55 総合討論

(学術フォーラム参加者と安全保障と学術に関する検討委員会委員による  
質疑応答)

16 : 55-17:00 閉会挨拶

挨拶 花木 啓祐 (日本学術会議副会長第三部会員、東京大学大学院工学系  
研究科教授)

17:00 閉会

#### 【参加申込】

日本学術会議ウェブサイト (<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0069.html>)  
より2月3日(金)17時までに氏名・連絡先(メールアドレス等)をご連絡下さ  
い。ただし、申込数が定員に達し次第、申込を締め切ります。申込を受け付け  
後、受付番号を事務局から申込者に連絡します。受付番号がない方の当日入場  
はできません。何卒ご了承ください。

※1参加申込につき1席のみの申込でお願いします(複数人分の申込は不可)。

#### 【本件問い合わせ先】

日本学術会議事務局 審議第二担当

TEL : 03-3403-1082 FAX : 03-3403-1640